

暖冬の中でも元気に活動、西川っ子

雪旅籠 志津を訪ねて 3年生

2月9日(金)3年生が志津の雪旅籠を訪ねました。暖冬により今年の積雪は例年の三分の一しかないとのことですが、みごとな雪像彫刻に子供たちは目を輝かせていました。地元の人「いつもはもっとたくさん雪が積もりませんが、雪がたくさんあることに幸せを感じています。」と話していました。雪とともに楽しんで生活している人たちの思いを知ることができました。「休日には家族でぜったいに来ます。」と、子供たちは話していました。旅館の方のご厚意により、特別料金で温泉にも入ることができました。



1, 2年生スノーアクティビティー体験

スキー教室は中止になってしまいましたが、1, 2年生は、月山スノーランドで、様々なアクティビティーを体験し、雪を満喫してきました。前日から積もった雪のおかげで、一面真っ白な銀世界の中で、雪国に生まれた幸せと醍醐味を感じることができました。

みんな思い切り雪を楽しみ、満足した笑顔で学校へ帰ってきました。来年はスキーもスノーアクティビティーも取り組んで、スキー大会にも出場できるといいですね。



6年生 雅楽に触れる体験・太々神楽学習会

高学年の音楽では、和楽器にふれる学習が組まれています。本校では、1月18日(木)に地元海味愛宕神社の役員及び楽士の方々においでいただき、雅楽の学習を行いました。笙や箏(ひちりき) 竜笛(りゅうてき)、太鼓などを使った本物の雅楽を聞くことができました。また、楽器を直接さわったり演奏にチャレンジしたりと、すばらしい学習をすることができました。



岩根沢地区で伝承している太々神楽。その実際を学ぼうと、保存会の皆さんの協力を得て、神楽の鑑賞と楽器の演奏にチャレンジしました。お面を付けた独特の踊りと、笛や太鼓の音に興味深々でした。保存会の皆さんは、「みんな筋がいい、ぜひ町の宝を伝承してほしい。」と話していました。「よし、やってみよう」とやる気満々の人もいたようです。

JRCオンライン語り部LIVE5, 6年生

日本赤十字宮城県支部では、「オンライン語り部LIVE」を実施し、本校5, 6年生が参加しました。東日本大震災で被災された方が語り部として自らの体験を語り、自分の命を守る知識を身に付けてほしいという思いで実施しているものです。当時の小学生は、日頃の訓練を生かして高台に避難できたことなどをお聞きしました。「ぜひ家に帰って、家族の方にも話してください。」と熱いメッセージをいただきました。



カヌーの絆 在日モルドバ大使学校訪問



西川町は東京オリンピックに向けてホストタウン協定を結んだモルドバ共和国と、今でも交流を図っています。その交流の一環として2月26日(月)在日モルドバ共和国大使が、学校を訪れました。大使ご夫妻と秘書官、コーディネーターの方が学校施設見学や交流給食、6年生との授業を行いました。大使は「給食がとてもおいしかった。」「味噌汁が特においしかった。」とおっしゃっていました。また、6年生との授業では、子供たちがモルドバについて調べたことをプレゼンし、疑問に思ったことを大使に質問しました。民族衣装や郷土料理、モルドバ共和国の歴史、歴史的建造物など、今まで知らなかったことがわかってよかったと、子供たちは感想を話していました。また、西川町のことももっと知ってもらうために、これからも交流していきたいと伝えました。大使の仕事の内容や、好きな日本食の話などを気さくに話して下さる様子から、在日大使のお人柄に接することができてよかったです。

感謝の気持ちを伝えるために！

給食感謝の会

いつも新鮮な地元の野菜を提供いただいている直売所の皆さんと、その食材を生かした給食を作ってくださる調理師の皆さんへ、感謝の気持ちを伝える会を開催しました。一緒に給食をいただき、感謝の言葉と全校生からのお礼の手紙を手渡しました。「皆さんもたくさん食べて丈夫に育ててください。」とお言葉をいただきました。



スクールガードリーダー感謝の会



雨の日も風の日も、暑くても寒くても、私たちの登下校の安全を守り続けていただいたスクールガードリーダーさんへの感謝の会が開かれました。おかげ様で交通事故が発生することなく、毎日楽しく学校生活を送ることができました。また、あいさつについてもほめていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもお体を大切にして、子供たちの見守りをよろしく願います。